

産業保健学部 看護学科

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

産業保健学部看護学科では、「医学及び看護学その他の医療保健技術に関する学問の教育及び研究を行い、労働環境と健康に関する分野におけるこれらの学問の振興と人材の育成に寄与する」という本学の目的及び使命を理解し、本学が規定する修業年限以上の在学のもと、看護専門職の基礎となる知識・技能・態度を修得するとともに、次に示す資質と能力を身につけ、卒業に必要な単位数を修得した者に卒業の認定を行い、学士（看護学）の学位を授与します。

1 人間性・倫理観

生命の尊厳を重んじ人々の権利を擁護できる豊かな人間性と高い倫理観ならびに深い教養と洞察力を身につけ、物事の本質を探究することができる。

（看 DP-1）

2 専門的知識・技能

多様な場における人々の健康課題を捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。

（看 DP-2）

3 看護実践力・批判的思考力・問題解決能力

社会の変化を予測して創造的に看護を実践し、看護の質を管理、改善することができる。

（看 DP-3）

4 産業看護・コミュニケーション能力

人々の健康を働くこととの関連から多角的に捉え、様々な職種と協働し問題解決に向けて活動することができる。

（看 DP-4）

5 国際貢献・自己啓発力

グローバルな視点から人々の健康を捉え、また主体性ある看護職者として自己啓発し続けることができる。

（看 DP-5）